



学校だより 穂波 平

令和8年度 第3号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「志をもち、主体的に行動する生徒」

- 自ら学び、共に深め合う授業
- 自他の良さを認め、共に高め合う集団
- 自ら鍛え、共に磨き合う心と体
- 地域と共に生きる姿勢

「繋(つな)ぐ」 校長 佐藤 真充

私は3年生と一緒に修学旅行に参加しましたが、一番強く感じたことは「繋ぐ」ということです。この「繋ぐ」とは、もともと「綱」に由来し、「離れているものを一つに合わせて通じるようにする」という意味があります。1、2年生のスローガンにもある「絆」とも深く関わる言葉です。今日は、この「繋ぐ」ということについてお話しします。

今年の修学旅行のスローガンは「みりよく旅行～なら、きょうという日を全力で～」でした。「魅力」「見力」「己力」の三つを高めながら、仲間との絆を深め、学びも楽しみも全力で取り組む充実した3日間となりました。日を追うごとに仲間同士の心が繋がり、ルールやマナーを守りながら思い出に残る旅行にしようとする姿が見られました。仲間を気遣う声かけや助け合いの場面も増え、集団としての成長を強く感じる事ができました。

ここで三つ紹介します。

一つ目は、楽しみながら学びを深める姿勢です。奈良や京都で、事前に調べた知識と実際に見た本物の姿や話を繋げることで、新たな発見や感動が生まれ、理解が深まりました。このように「知っていること」と「体験したこと」を結び付けることは、学びを確かなものにしていきます。この経験をこれからの学びや生き方にもぜひ生かしてほしいと思います。

二つ目は、気持ちのよい挨拶です。添乗員や宿の方々に対して、感謝の気持ちを込めた挨拶が様々な場面で見られました。日頃の学校生活の積み重ねを感じるとともに、挨拶には心と心を繋ぐ意味があることも学びました。相手を大切に思う気持ちが、言葉や態度として表れていた点も大変すばらしいと感じました。これからも大切に続けてほしいと思います。

三つ目は、自分たちの力でよりよく行動する力です。室長会議での振り返りを通して意識が高まり、互いに意見を出し合いながら改善を重ねることができました。その結果、班行動やルールを守り、すべての活動をやり遂げることができました。このような主体的な姿勢や協働する力は、これからの学校生活でも大きな力となっていきます。

このように三つの「みりよく」を意識することで、仲間との繋がりがさらに深まる修学旅行となりました。2年生は体験活動を通して、1年生は地域学習を通して、それぞれ仲間との絆を深めることができたと思います。

どの学年も、仲間と力を繋ぐことで多くの学びと感動を得ることができました。四魂祭でも、全校の思いを繋ぎ、新たな学校の文化を創っていくことを期待しています。

6月からは定期テストや大会などが始まります。今回の経験で培った絆や力を、これからの学校生活にも生かしていきましょう。

【令和8年5月29日 全校集会より一部抜粋】

3年生 修学旅行 奈良・京都方面

今年の修学旅行のスローガンは、修学旅行を通して3つのみよく（魅力・見力・己力）を見付けたり、身に付けたりしたいという思いから「みよく旅行 ～なら、きょうという日を全力で～」に決定しました。当日は、スローガンの下、寺社仏閣の魅力を肌で感じたり、仲間の良さを見付けたりしながら、クラスや学年の団結力を高めることができました。

3日間の貴重な経験を通して、生徒は仲間を思いやる姿や、時間を意識して行動する姿などが多く見られました。これからの学校生活でも、修学旅行で学んだことを活かして、最上級生として学校を牽引することを期待しています。
（担当：井出 快）



2年生 自然教室 山梨県西湖

今年の自然教室のスローガンは、「時間を守る・話を聴く・我慢をする」という学年の理想の姿を意識して、最高の思い出をつくりたいという思いから「駆け出そう 理想の姿に向かって～166人の絆 西湖で最高の仲間と最高の思い出～」に決定しました。

ハイキングや炊飯活動、キャンプファイヤー、カヌー体験など様々な活動を通して、西湖の自然に触れ、仲間の良さを見つけることができました。3日間を通して、仲間と助け合う姿や、今すべきことを考えて行動する姿がたくさん見られました。また、家庭でのあたりまえの生活のありがたみを感じられたことと思います。自然教室で学んだことを活かし、理想の姿に向かってこれからも学年全員で励んでいきます。（担当：井口 遙）



1年生 穂波平セミナー

今年度の穂波平セミナーのスローガンは、「絆 ～富士宮の宝を仲間と受け継ぎ、未来へつなごう～」でした。学年委員10名を中心として、生徒は5つの係に分かれて事前の計画から当日の運営まで主体的に準備を進めることができました。

3日間のセミナーでは、富丘地区の地域散策や史跡めぐり、SDGs講話と薪割り体験、富士山世界遺産センターでの学習など、様々な活動を行いました。生徒たちは学年目標である「聴く」姿勢を大切に、地域の方々のお話に耳と心を傾けて真剣に学び、愛郷心を育むきっかけとなりました。

期間中、班や学級での話し合いを通して、162名全員が互いに協力し合い、認め合う姿がたくさん見られました。一人一人が役割を全うし、仲間との絆を深めていました。このセミナーで得た知識と経験を、今後の学校生活や課題設定に活かし、主体的に行動してほしいと思います。（担当：廣嶋 佑己）

